

杉並区における東京 2020 オリンピック・
パラリンピック競技大会に向けた懇談会の取組
第 1 期 まとめ

平成 3 0 年 1 0 月

杉並区における東京 2020 オリンピック・
パラリンピック競技大会に向けた懇談会

目次

1	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催.....	1
2	区の現状と大会に向けた取組.....	1
3	懇談会の設置.....	1
4	懇談の経過と内容.....	2
5	各テーマにおける 2020 年までの取組と目指す大会遺産（レガシー）.....	2
6	今後の展開.....	3
7	懇談会開催実績.....	3
8	杉並区における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会委員 名簿（平成 30 年 3 月現在）.....	5

1 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催

「TOKYO」への招致決定

2013年9月、2020年夏季五輪の開催都市を決める国際オリンピック委員会（IOC）総会が開かれ、東京においてオリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」という。）を開催することが決定した。

1964年以来56年ぶりで、2回目の開催はアジア初であり、72年札幌、98年長野の冬季大会を含めると日本で4回目のオリンピックとなる。また、障害者スポーツのパラリンピック大会の東京開催も併せて決定した。

アクション&レガシープランの策定

大会の開催に向け、組織委員会は、大会に向けたロードマップ「アクション&レガシープラン2016」を策定した。このアクション&レガシープランは、「東京2020大会に一人でも多くの方に参画して頂き（アクション）、そして東京2020大会をきっかけにした成果を未来につなげる（レガシー）ための取組」である。

2020年に向け計画的にアクションに取り組み、各分野にハード・ソフトの両面にわたるレガシーを創出することで、次代の日本社会の姿を子どもたちに示していくとしている。

2 区の現状と大会に向けた取組

杉並区は「杉並区基本構想」の実現に向け「杉並区総合計画」を策定し、「暮らしやすく快適で魅力あるまち」を目標に掲げ、区民の住環境の向上や魅力的でにぎわいのあるまちづくりに関する取組を推進している。また、目標の達成に向けた具体的な取組として「杉並区実行計画」に3つの柱を挙げている。

アクション&レガシープランの策定に平行し、杉並区においても、大会に向け、この実行計画において「オリンピック・パラリンピック事業の推進」を掲げ、大会理解促進・気運醸成、文化プログラムに向けた調査・検討・実施に取り組むこととした。

3 懇談会の設置

区民の大会の理解促進・気運醸成に向けた取組の一つとして、2016年9月に「杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会（以下、「懇談会」という。）」を設置した。

懇談会は、将来にわたり大会の有益な遺産（レガシー）を残すことができるよう、幅広く意見交換を行い、それぞれが主体となって、大会に向けた取組を進めていくことを目的としている。また、懇談を通して、「区民が描く2020年以降のすぎなみ」を明確にし、区の取組に反映させていくことも役割の1つとしている。

委員には、学識経験者、区内団体から推薦を受けた者、スポーツ競技経験者、一般公募者及び広報専門監等30名を選出した。

4 懇談会の内容

2016年9月から2018年3月までに全8回の懇談会を開催した。

第1回懇談会では、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした杉並区のあるべき姿」について意見を交わした。

第2回懇談会では、「オリパラで『すぎなみ』はどのような？」をテーマに、ワールドカフェ方式でディスカッションを行い、あがったキーワードを12のカテゴリーに分類した。

第3回懇談会では、あがった12のカテゴリーについてイメージの具体化を行い、「スポーツ」、「バリア」、「地域活性」、「こども」の4つのテーマに絞り込みを行った。

第4回懇談会では、絞り込んだ4つのテーマについて「2020年でのすぎなみの姿」をイメージし、理想のすぎなみ（＝ゴール）を設定した。

第5回懇談会では、ゴールの実現向け、具体的にどのような取り組みを行っていくのか検討した。

第6回懇談会では、各テーマの「目指す大会遺産（レガシー）」を設定した。また、「スポーツ」「地域活性」「こども」については懇談会委員が実行委員会を立ち上げ取り組むこととし、「バリア」については区が中心となり取り組んでいくこととした。

第7回懇談会では、各実行委員が、今後の取組とスケジュールについて報告を行い、それぞれの内容に対して意見交換を行った。

第8回の懇談会では、第7回懇談会を受け、各テーマの取組をブラッシュアップして、最終報告を行った。

5 4つのテーマにおける2020年までの取組と目指す大会遺産（レガシー）

① スポーツ「すぎなみスポチャレフェスティバル（仮称）の開催」

【具体的な取組】

海外で盛んであるが日本ではマイナーな競技への取組や、外国人にスポーツを通じて日本を知ってもらうなどの、これまでにない新たな視点を持ったスポーツイベントの実施を経て、2020年に「すぎなみスポチャレフェスティバル（仮称）」を開催する。

【目指すレガシー】

国籍を問わず、街中でスポーツを通じた交流ができる環境づくり。

② バリア「区民のバリアを取り除くキャンペーンの実施」

【具体的な取組】

多文化共生社会の実現に向け「ホームステイ・ホームビジット支援」に取り組むとともに、パラリンピック競技体験などのイベントを展開し、心のバリアフリーを目指す。イベント開催にあたってはNPOや民間事業者の資源・ノウハウを活かし、効果的な取組を進める。

【目指すレガシー】

みんなが自然にバリアを取り除く行動ができる（心のバリアフリーの実現）。

③ 地域活性「食をテーマとした地域イベントの実施」

【具体的な取組】

オリンピック・パラリンピックを契機として、商店街や町会・自治会、学校、区内在住外国人などと話し合いながらオリンピック・パラリンピックに関連した国々の「食」をテーマとした地域イベントを行うことで地域の活性化を図る。

このイベントを通じて地域の様々な方々との交流を深めるとともに、他の地域にもこの取組を拡大していく。

【目指すレガシー】

地域の人々の杉並愛を高め、外国の方々も杉並を好きになっている。

④ こども「2020年を象徴する創作」

【具体的な取組】

小中学生を主体として、大学生などの支援により、「フィールドワーク」や「ワークショップ」を行い、旗やカルタのようなオリンピック・パラリンピックをモチーフとした2020年を象徴する創作を行い、発表の場を設けることで、子どもたちの心に残るレガシーとする活動を行っていく。

【目指すレガシー】

子どもたちが世界を知り、日本を知り、杉並を知り、小・中学生たちの交流が盛んになっている。

6 今後の展開

平成28年9月より8回に渡り会合を重ねてきた区民懇談会であるが、委員の任期は2年間となっており、30年8月31日に更新を迎えた。なお、再委嘱にあたっては、新たな公募は行わず、現委員の再任を基本として依頼を行う。

今後は、懇談会委員が立ち上げた実行委員会を中心に、「スポーツ」、「地域活性」、「こども」の3つのテーマにおいて、大会遺産（レガシー）の創出に向け具体的な取組を進めていく。

7 懇談会開催実績

平成 28 年度

回数	開催日	主な議事
第 1 回	9 月 3 日	委員委嘱 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした杉並区のあるべき姿について 1
第 2 回	10 月 15 日	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした杉並区のあるべき姿について 2
第 3 回	12 月 3 日	アイデア（イメージ）の具体化と共有
第 4 回	1 月 26 日	「2020 年でのすぎなみの姿」を実現するためのプロジェクトの具体化 1
第 5 回	3 月 23 日	「2020 年でのすぎなみの姿」を実現するためのプロジェクトの具体化 2

平成 29 年度

第 6 回	6 月 29 日	目指す大会遺産（レガシー）の設定
第 7 回	1 月 23 日	「地域活性」「スポーツ」「こども」各実行委員会の事業報告 1
第 8 回	3 月 27 日	「スポーツ」「地域活性」「こども」各実行委員会の事業報告 2（まとめ）

8 杉並区における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会委員名簿（平成 30 年 3 月現在）

No.	氏名	区分（推薦団体・役職等）
1	秋山 とよ	杉並区町会連合会 副会長
2	斉藤 信夫	杉並区商店会連合会 副会長
3	上原 正	杉並区商店会連合会 青年部部长
4	八方 淑夫	東京商工会議所杉並支部 副会長
5	山田 高章	東京商工会議所杉並支部 副会長
6	大場 淳一	東京商工会議所杉並支部 建設分科会副分科会長
7	佐藤 慎祐	杉並産業協会 副会長
8	新井 一功	東京青年会議所杉並区委員会
9	服部 洋	杉並区文化団体連合会 会計理事
10	板倉 徳枝	杉並区交流協会 副理事長
11	富澤 武幸	東京高円寺阿波踊り振興協会 事務局長
12	岡崎 祐子	杉並区障害者団体連合会 副会長
13	本郷 辰博	杉並区立小学校PTA連合協議会 会長
14	岡野 陽子	杉並区立中学校PTA協議会 会長
15	中島 智	杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会 東京立正短期大学 専任講師
16	松尾 秀治	杉並区体育協会 副理事長
17	渡邊 ひろこ	杉並区スポーツ推進委員 会長
18	伊藤 歩	杉並区青少年委員協議会 副会長
19	菊池 まどか	杉並区青少年育成委員会会長連合会 杉並区成田青少年育成委員会 会長
20	松原 隆一郎	東京大学大学院総合文化研究科 教授
21	結城 加奈子	区民（スポーツ経験者）
22	高田 朋枝	区民（障害者スポーツ経験者）
23	小松 邦江	区民（一般公募）
24	松原 弘和	区民（一般公募）
25	近藤 眞司	区民（一般公募）
26	河野 瑠瑠	区民（一般公募）
27	綿野 知洋	区民（一般公募）
28	後藤 裕子	区民（一般公募）
29	プラディップ タパ	区民（一般公募）
30	谷 浩明	広報専門監

**杉並区における東京 2020 オリンピック・
パラリンピック競技大会に向けた懇談会の取組**

杉並区における東京 2020 オリンピック・
パラリンピック競技大会に向けた懇談会

平成 30 年 10 月

杉並区 区民生活部 文化・交流課
オリンピック・パラリンピック連携推進担当